



福岡県学童保育連絡協議会

2022年12月号担当：カータン

特集

生活の場としての 施設と環境を考える



- p10 子どもたちの「生活の場」を保障する施設空間 小伊藤亜希子
- p16 「ただいま〜!」「おかえり!」
みんなが心地よく過ごせる生活の場を 辻田民江
- p22 木のぬくもりあふれる施設を子どもたちに! 市来久恵
- p28 施設・環境に関わって配慮していること 読者からの投稿

学校の学習時間が増加し、緊張して疲れて帰ってくる子どもたちにとって、学童保育は元気に遊ぶだけでなく、ほっこりしたり、ぼーっとできる場がますます大切になっています。子どもたちの「生活の場」を保障する施設とは・・・

家庭に代わる居場所に必要な施設空間の基準をよりよく充実させ、公的責任で整備するよう、現場からも声をあげ、働きかけていくことが必要

地域の中で育つ拠点として

さまざまに議論を重ねて・指導員と保護者の願いを紡いで・子どもたちが自らの手で

「ただいま」「おかえり」と帰れる場所



講座
子どもの生活と
発達を学びほぐす
臨床的試論
第3回

P46 小淵隆司さん（北海道教育大学釧路校）

講座 第3回 （講座は10月号から始まっています）

「関係」の発達を考える

—— 関係が変わる、気持ちが変わる

子どもも大人も個として存在しながら、決して、一人だけで存在しているわけではありません。自分のうちにある他者、自分と離れていながらもつながっている他者、そんな他者の存在によって、自己があります。その自己は、状況が変われば、違う一面が立ち上がってきますし、関係が変われば、行動も変わります。それらの関係は、変化するだけでなく、発達します。

今回は、この“関係”について、書かれています。

学校から少し離れたところにある古民家。本当に“古い大きなおうち”で、「きたないボロボロ屋敷」。カナヘビをはじめて見たこと、グミの木の实をたべたことなどなど。お化け屋敷のような学童保育が楽しかった。子どもたちにとってはこんな施設にいたらワクワクドキドキの毎日をご過ごせるでしょうね!!

全国の動きが、よくわかります!!

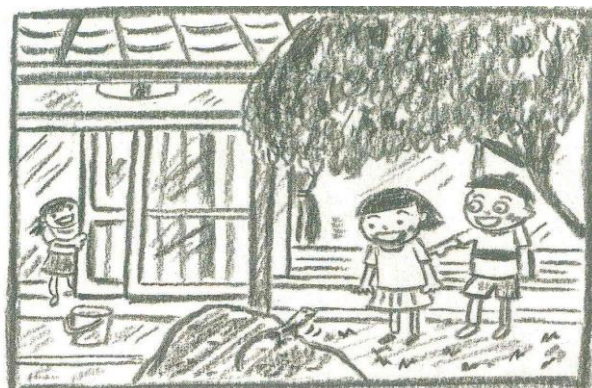
協議会だより

- ・社会保障審議会児童部会「放課後児童対策に関する専門委員会」
- ・全国学童保育連絡協議会定期総会を開催しました

<おもいで絵日記>

懐かしいわたしたちのおうち

森田 梓 石川県津幡町 指導員



まだまだ、たくさんの見どころ満載

「日本の学童ほいく」開いて!!

購読していないかたは、この機会にどうぞ!!

「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌をぜひ、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。

毎月、担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介していきますので、ぜひ、定期購読申し込みをお待ちしております。

申し込み先：福岡県学童保育連絡協議会

TEL：093-662-6000 FAX：093-662-6006